

そうだんしつだより

令和6年9月5日
世田谷区立若林小学校



じどうのみなさん

2学期が始まりました。夏休みはどのように過ごしましたか？廊下や相談室ででカウンセラーと
会ったときは、ぜひみなさんの夏休みの思い出を聞かせてください。

さて、みなさんは今年の夏に開催されたパリオリンピックは観ていましたか？仲間と能力を高
めあい、競争し、勝利を目指して限界に挑戦するアスリートを観ると私たちも勇気や元気をも
らえます。何かに熱中したり、極めようとしたり、自分の持っている力を最大限使いきるこ
とをすると、人は元気になりますし、周りの人も元気にさせることができます。

2学期は学校の授業だけでなく、運動会などのイベントもあります。普段の勉強に加えて、
自分の好きなこと、得意なことから取り組み、できたら少し苦手なことまで、いろいろなものに
挑戦し、自分の持っているモノを最大限使ってみましょう。

そうすると“できないことができるようになる”“わからないことが分かるようになる”“勝て
なかった相手に勝てるようになる”など、いろいろな喜びや気持ちよさ、時には悔しさも感じら
れることでしょう。自分の持っているモノを最大限使い続けていくと新しい感覚に出会えるかも
しれません。“できるまでやりきる”ができると、それはとっても気持ちのいいことです。

まだまだ暑い日が続きますが、体調に気を付けて元気に過ごして、最大限自分の力を発揮する
喜びを感じていきましょう。

☆相談室の予定☆

9月 

月	火	水	木	金	土	日
2	③	④	◇5	6	7	8
9	⑩	⑪	◇12	13	14	15
16	⑰	18	◇19	20	21	22
23	⑳	25	◇26	27	28	29
30						

10月 

月	火	水	木	金	土	日
	①	②	◇3	4	5	6
7	⑧	⑨	◇10	11	12	13
14	⑮	16	◇17	18	19	20
21	⑳	23	◇24	25	26	27
28	㉑	30	◇31			

○の日は^{ひだの}披田野カウンセラー
◇の日は^{みぞぐち}溝口カウンセラーが^{そうだんしつ}相談室にいます。



保護者のみなさま

夏休みのお子さんの様子はいかがでしたか。英気を養うことはできたでしょうか。オリンピックに触発され、表面では、少々アツイ話をしました。ここでは、「自分の力を最大限使い切ること」、つまり全力を出しきるこの意味について話したいと思います。全力を出し切る感覚を磨く機会が少なくなっている昨今ですが、心の発達のために学童期のお子さんは、思いっきり自分の力を使って、仲間と競争をして、自分の今できること、できないことを知っていき、人との間で自分の力加減を知っていく必要があります。加えて、その上で自分（能動的であることが大切です）が少しでも成長したいと思えるようになり、さらに成長するまで、できるまで取り組む心の力を育むことが求められます。これは働く力にもつながっていきます。勉強や、スポーツ、遊びなどがそれを学ぶ良い機会だと思えます。ちょっとした“好きなこと”や小さな“できる”でも構いません。自分が全力を出して取り組み、目標を達成するために工夫し、できないことができるようになることを繰り返す体験をすることで、喜びを得られます。それが自信となり、いずれ大変なものや苦手なものにも取り組めるような、成長する面白さを味わえる心の強さが育っていくはずです。まずは、**お子さん自身が能動的に力を使おうとしているところを取り上げて、大事に支えてみてください。**

相談室では、上記に関するような相談も受け付けております。他にもお子さんのことで気になることがありましたら、ぜひ相談室の利用をご検討ください。



相談室直通番号・FAX (03)3413-0931

※この電話はカウンセラーのみが使用しています。
開室日でも、面談中や席を外しているときは留守番電話になっています。その場合は、メッセージに**クラス、お名前、ご連絡先**を録音してください。こちらから折り返しご連絡いたします。
なお、急な予定変更もありますのでご了承ください。
☆スクールカウンセラーには、守秘義務があります。お話しいただいた内容は、秘密を守ります。